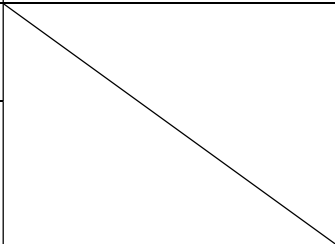


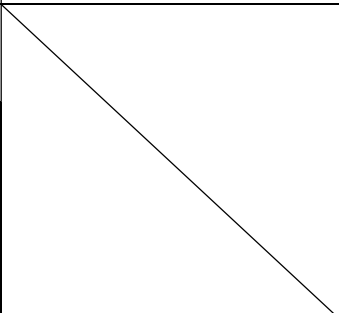
令和 6 年度の社協会費は、合志市の皆さま並びに多くの事業所さまから 6,114,200 円 のご協力をいただきました。ありがとうございました。皆さまにご協力いただいた社協会費がどのように活用されているのか、「令和 6 年度合志市社会福祉協議会事業報告」の中から抜粋してご紹介します。

事業内容			写真
① 生活困窮者 自立支援事業	配分金額	150,000 円	 生活支援相談センター 安心サポート合志
	「暮らし」「仕事」「家計」など、さまざまな事情により経済的に困りの方を対象に相談員と一緒に考え、解決へのお手伝いをします。就労、心身の問題、将来への不安など抱えている問題を専門の相談員が幅広く伺い、自立に向けた必要な支援を提供できるように相談支援を実施しています。		
② ぽっかぽか サポート事業	配分金額	700,000 円	 協力会員養成講座の様子
	日常のちょっとした困りごと（例：ゴミ出しや電球交換等）のお手伝いが必要な方（利用会員）とお手伝いが出来る方（協力会員）を会員として登録し、住民同士のつながり作りのきっかけとして、住民相互の支え合い活動を行います。さらに、本事業の活動強化のため、サポーター養成講座を開催しました。		
③ 児童青少年 福祉事業	配分金額	300,000 円	 すずかけベース様子
	市内 7 ヶ所の子育てサロンへの助成や、小学生のワークキャンプ、中高生を対象とした赤ちゃんふれあい交流などを実施しました。また、放課後の居場所として、すずかけ台にて「すずかけベース」を開設し、子ども達の居場所づくりを行っています。		
④ 地域福祉 支援事業	配分金額	220,000 円	
	合志市で活動されている団体（更生保護女性会、保護司会、ひとり親家庭福祉協議会、身体障害者福祉協議会など）へ活動助成金の交付を行っています。		
⑤ 災害ボランティア センター設置事業	配分金額	200,000 円	 災害ボランティアセンター設置訓練の様子
	合志市で大規模災害が発生した際、社会福祉協議会では、災害ボランティアセンターの立ち上げを行います。いざ、災害が発生した際に、迅速に災害ボランティアセンター設置・運営ができるよう年に 1 回災害ボランティアセンターの設置訓練を行います。また、災害ボランティアに関する講座等を開催し、災害ボランティアセンターの役割や平時からできる防災・減災についての取り組みについて講座を行っています。		

社協会費配分金事業（令和 6 年度実施）

⑥ 福祉育成援助活動	配分金額	2,099,200 円	 東西民児協連合研修会 の様子
	地域福祉の推進のため民生児童委員協議会への助成にも活用しています。民生児童委員は、「相談」「つなぎ」「見守り」を活動の原則として、地域に身近な福祉の担い手として活動しています。地域の見守りネットワークの構築や、身近な地域での福祉活動の増進に取り組んでおり、安心して暮らせる地域づくりを支えています。		
⑦ 高齢者生きがいづくり事業	配分金額	245,000 円	 エンジョイファーム講座 の様子
	高齢者の生きがいづくり・社会参加の促進を目的として、合志市内外の団体や企業に協力頂き、珈琲講座、終活講座、スマートフォン講座、農園活動(エンジョイファーム)などの様々な講座を開催しています。講座受講後、サークル活動へも発展し、生きがいを通じた通いの場の創出に繋がっています。		
⑧ 地域福祉 権利擁護事業	配分金額	650,000 円	
	熊本県社会福祉協議会より一部事務委託を受け、利用者との契約に基づき、認知症や精神障がい等により日常生活を営むのに支障がある方に対し、福祉サービス利用援助を中心に、日常的な金銭管理や書類等の預かり・保管などの支援を行っています。		
⑨ 生活支援体制 整備事業	配分金額	150,000 円	 合志市見守り応援隊 シンボルマーク
	高齢者が自立した日常生活の維持及び要介護状態などとなることの予防、又は要介護状態等の軽減若しくは悪化の防止ができるよう、地域における通いの場の活性化、創出に向けた整備を行っています。その一つとして、合志市内で、見守り体制の構築を目的に、「合志市見守り応援隊」を立ち上げ、日常生活で、“〇〇しながら”見守る協力者を把握し、キーホルダーなどの配布を行っています。		
⑩ 障害者福祉活動	配分金額	50,000 円	
	発達が気になる子どもを持つ親同士が定期的集まり、子育てについて情報交換・共有を行う中で、親の困り感や悩み、不安を抱えこまずに話し合える『居場所』として茶話会を実施しています。		
⑪ 資金貸付 県社協生活福祉	配分金額	400, 000円	
	生活に困窮する方々が自立した生活を送れるよう、一時的な資金の貸付を実施しています。主に低所得世帯や高齢者世帯、障がい者世帯が対象で、必要に応じた支援相談も併せて行い、自立した生活に向けた援助を行っています。		

社協会費配分金事業（令和 6 年度実施）

⑫ ボランティア活動育成	配分金額	250, 000円	
	ボランティア人材の育成を目的に、ボランティア講座を開催。令和6年度は、「送迎サポーター養成講座」を行い、高齢者サロンや認知症予防教室での送迎ボランティアの確保に努めました。また、「UDeスポーツボランティア養成講座」も実施し、高齢者サロンを始めとする通いの場の活性化に向けた支援を行いました。		
⑬ 老人福祉活動	配分金額	100, 000円	
	合志市内に在住する80歳以上の独居高齢者を対象に、民生児童委員と連携し、「歳末見守り訪問」を行いました。訪問時に、社協オリジナルの体操カレンダーと市内の小学生が書いた、メッセージカードを配布しました。		
⑭ 家族介護教室	配分金額	150, 000円	
	介護に興味のある方、これから、家族を介護する方などを対象に、介護に関する知識・技能取得を目指し、家族介護教室を開催しました。講師は、市内の社会福祉法人等から協力を頂き実施。また、認知症や介護に関する啓発活動として、認知症啓発講演会を開催。今年度は、「ぼけますからよろしくお願いします」の上映と映画監督の信友氏による講演会を実施した。		
⑮ 地域住民グループ	配分金額	250, 000円	
	公民館等を拠点に、高齢者が気軽に集い、交流や趣味活動を楽しむ場として実施。近年、核家族化が進む中で、仲間づくりや健康づくりを目的に、体操・レクリエーション・おしゃべりなどを通じて、心身の活性化と孤立予防を図っています。また、年2回、合志市のサロンスタッフの全体研修として、サロン研修会を開催し、サロン活動運営サポートを行っています。		
⑯ 相談拠点整備 (ふらっととホーム)	配分金額	200, 000円	
	毎週月曜日に、南ヶ丘福祉支援センター「ひかり」において、子育て世代を中心とした、相談窓口を開設。子どもは、部屋で遊びながら、気軽に相談ができる環境を整備しています。		